

地域公共交通活性化・再生総合事業（調査事業）

（松山市地域公共交通総合連携計画策定）

概要

松山市には、鉄道・軌道、路線バス、航路といった複数の交通モードが存在するが、モータリゼーションの進展によって、利用者が著しく減少しており、特に郊外地域を走るバス路線や離島航路においては、路線維持が困難な状態にある。

本格的な少子高齢化の到来や中心市街地の低迷等、様々な課題を抱える中で、市民の交通行動やニーズを把握することによって、地域の実情に合った適切な交通モードを検討し、相互に連携の取れた公共交通体系の構築を検証する。

○地域公共交通の概要

- ・JR予讃線11駅
- ・郊外電車3路線35駅（伊予鉄道株）
- ・路面電車4路線27駅（伊予鉄道株）
- ・路線バス34路線99系統（伊予鉄道株、中島汽船株）
- ・離島航路3航路（中島汽船株、(有)新喜峰、興居島汽船(有)、(有)小富士汽船）

○地域公共交通の課題

- ・利用者減少による既存路線の見直しと生活交通の確保
- ・アクセス不便地域の解消
- ・利用者の多様なニーズへの対応
- ・鉄道・バス等の各交通モード間の連結機能強化
- ・自動車からの利用転換

○調査事業の主な内容

- ・現況交通実態調査（路線バス利用実態調査等）
- ・市民ニーズ把握調査（アンケート調査等）
- ・地域の実情に応じた交通モードの検討

○地域公共交通総合連携計画の構想（予定）

- ①より快適で利用しやすい路線バスの実現
交通施設等の整備改善、路線全体のバリアフリー整備 等
- ②地域・行政・交通事業者が一体となった効率的な生活交通の確保
バス路線の効率的・効果的な運行検討、新たな交通システムの構築検討 等
- ③利便性の向上と利用促進活動の推進
「交通・環境教室」の実施、バリアフリー化の推進 等

